飼い主のいないネコを減らすために。

飼い主のいないネコ（野良猫）は交通事故、病気、怪我など様々なリスクにさらされています。
さらに野良猫のふん尿、鳴き声などで人間にとっての問題も。
ネコにとっても、人にとっても、住みよいまちにするため足立区は「地域ネコ活動」を進めています！

協力：NPO 法人けだ・まも /NPO 法人あだち動物共生ネットワーク

「地域ネコ活動」で見守る

地域ネコ活動とは？

野良猫に困っている人も含めて、地域住民が主体となり、野良猫との共生を目指す活動のこと。
野良猫を増やさないように、不妊去勢手術を徹底し、一代限りの生を全うするネコたちを見守っています。

どんな活動をするの？

1. 不妊去勢手術を徹底
2. エサの時間・場所を決めてあげる
3. 住民同士で話し合って、活動を認め合う
4. ネコ用トイレを設置。ふん尿を掃除する

8月1日から
足立区が
不妊去勢費用を
全額補助！

野良猫被害に悩み、ネコが嫌いだった住民の方を中心に、地域がともに手を取り活動している地域があります。
地域のために始めた活動が、結果としては野良猫を救っています。

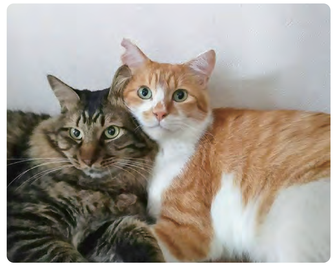
保護ネコとして家に迎え入れる

「保護ネコ」という選択肢

“劣悪な環境にいた” ” 飼えなくなってしまった” 等の理由で保護されたネコを「保護ネコ」と呼んでいます。ＮＰＯなどが主催する譲渡会で飼い主を探しています。「保護ネコ」は新しい飼い主にめぐりあうことで救える命です。

譲渡会などでネコと出会う → 譲渡の条件説明や住環境の確認など → 審査の後譲渡契約 → 晴れて家ネコへ！

保護ネコSTORY

今では大事な家族に。

野良猫生活が長いうめ（茶白）、とら（キジトラ長毛）。
それぞれ６歳、８歳のときに巡り合い、「家ネコ」になりました。家族に迎えられて５年たった今では２匹はいつも一緒で、「ネコ団子」をして仲良く眠っています。　（足立区在住　M.I さん）